

特許紹介

第26巻第11號 昭和15年11月

道路舗装材料

(特許第13754號 發明者) (特許権者) 寺田雄藏

火山礫砂灰、粘土及川砂を混合したものを熱處理し、之にセメントを混合した舗装材料で之を使用すれば、適度の弾性と摩擦を有し同時に雨水を透過させる。

實施例、火山礫砂灰 55、粘土 30、川砂 15 の容積比で混合し窯で空氣の供給を良くして 900°C にて熱處理したものに約 1 割のセメントを混入する。

セメント急硬防水劑製造法

(特許第137548號 發明者) (特許権者) 村井 純

コロイド壤土を鹽酸で處理し次に弗化水素酸で處理して酸化マグネシウム又は 炭酸マグネシウムを添加する方法で、其結果鹽化アルミニウム及珪弗化マグネシウムを生じて之等が奏效する。

補強コンクリート構造

(特許第137610號 發明者) (特許権者) 藤原庄三

任意一定形状の鐵線片に石綿、硝子綿、岩綿の様な礦物纖維を末端遊動自在に結着して(圖-1)、之等の多數を混入したものを、鐵片と纖維とを別々に混合すれば比重差により偏在するので之を防止した。

圖-1.



セメント製品補強用材の製造方法

(特許第137633號 發明者) (特許権者) 五十嵐 傑

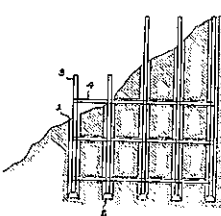
先づ適宜のセメント製品を水中に浸漬して製品中よりセメントの含有成分を抽出した液を作り、此の液に木材、竹材、麻、木綿等の補強用材を浸漬吸収させるのである。

崖地の崩壊を防止する方法

(特許第137667號 發明者 木田保造) (特許権者) 木田保太郎

此の目的の爲には普通擁壁を造るが本發明は立體的構格を造るもので、圖-2 の様に崖地に沿うて堅坑(1)を掘鑿し底部に基礎(2)を築造し之に支柱(3)を樹て各支柱を梁(4)で連結する方法で、更に必要に應じては床版や隔壁を造り區劃内の土砂を排出して空室を作り適宜利用する。

圖-2.



運動場構成法

(特許第137697號 發明者) (特許権者) 奥 庚子彦

赤煉瓦の粉粒にセメント等を混和して舗装した從來のもの改良である。即ち石炭灰滓か赤煉瓦粒かを撒布し撒水輾壓した下地面に赤煉瓦の粉粒に少量の燒成菱苦土礦、生石灰及酸化鐵を混和したものを撒布し撒水輾壓し、更に水に亞麻仁油と少量の膠及アルカリを混入したものを撒布し十分輾壓する方法で、耐旱性、耐寒性及弾性の増大を圖つた。

運動場構成法

(特許第137698號 發明者) (特許権者) 奥 庚子彦

前者同様の效果を企圖するもので更に耐壓性の増大をも圖つた。即ち石炭灰滓か赤煉瓦の粉粒かを撒布し撒水輾壓した下地面に赤煉瓦の粉粒に少量の燒成菱苦土礦を混和したものを撒布し撒水輾壓し、更にカゼイン溶液を撒布し十分輾壓する。

可塑成型物の製造法

(特許第137781號 發明者) (特許権者) 岡 道

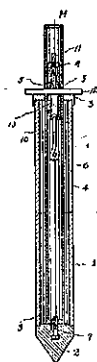
石灰又は石灰とセメントを主材として成型する際、鹽化マグネシウム及レグミンの混合水溶液の珪酸曹達を加へ又は加へないもので混和成型する方法で、平板、浪板、パイプ等を造る。吸濕性少く耐寒耐腐耐火の效果を得んとするものである。

(附)登録實用新案 中空コンクリート杭素材

(第28000號 公告15年第027號) 實用新案審判部 系判又右審判

圖-3 参照、數箇のコンクリート短管(1)の下端に鑿穿錐(2)を上端に支材(3)を設け、鑿穿錐(2)には之等の短管を買いて長い金屬管(4)を螺着し、金屬管(4)内に緊縮用履管(9)を内装し之に懸垂させた鉤具(10)を金屬管(4)を直徑的に過る桁(6)に懸止し且金屬管(4)及履管(9)を過り突出端が支材(3)に接觸する様に横桁(12)を串通し、履管(9)には横桁(12)を押壓する様に螺釘(11)で締めて之等の短管を連結する。

圖-3.



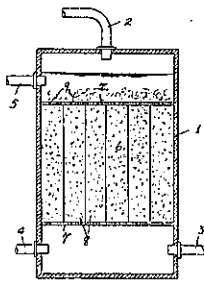
硬水軟化装置

(第26606號 公告15年第4070號) 實用新案審判部 株式会社東京パーマテット商会

圖-4 参照、ゼオライト層(8)を硬水流下方向に沿う

て数箇の区分(8)に区割したもの。

圖-4.

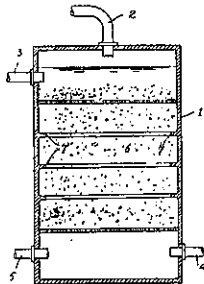


硬水軟化装置

(第 286907 號 公告 15 年第 4131 號
實用新案權者 株式会社東京パームシャット商会)

圖-5 参照,ゼオライト層(6)を囲む濾過筒(1)の内周面に適當間隔に突出する数段の環状(7)を設けたもの。

圖-5.



ローラーゲート

(第 284209 號 公告 15 年第 1395 號
實用新案權者 山原久吉)

圖-6 参照,扉の堅枠(2)に設けた誘導ローラー(1)と此のローラーが走るレール(3)との接觸面を相對的に同一半徑の圓弧よりなる凹凸面として,ローラーの輪周とレールとを一つの弧線で接觸する様にしたもので,扉が抛んでも滑動に支障がない。

圖-6.

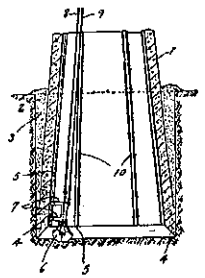


基礎井筒

(第 284826 號 公告 15 年第 1025 號
實用新案權者 堀 邦一)

圖-7 参照,井筒(1)の上縁から双型(4)附近迄延在させた軌條(5)を井筒の内側母線に沿うて多数取付け,此の軌條にグラブバケット(6)を摺動自在に取付けたもので,双型附近の土を有効に掘鑿することが出来る。

圖-7.

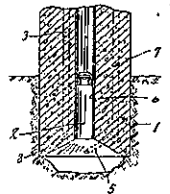


杭

(第 284840 號 公告 15 年第 1114 號
實用新案權者 大内二男,山先 勇)

圖-8 参照,下端を双型(8)にした中空杭(1)に於て,杭體に埋設した壓力水管(3)の射水管(5)を双型内側面に開口させ,噴射した水は貫通孔(2)を通過して還るもので,杭周囲の地盤を軟化させない。

圖-8.



車輛用レール座床

(第 286227 號 公告 15 年第 2100 號
實用新案權者 原田康雄)

圖-9 参照,基床(1)内に弾性硬質物(例へば硬質ゴム)の球體(2)を頂部が基床表面より幾分隆起して突出部(8)を形成する様埋設したもの。

圖-9.

